

2024年8月1日

各 位

株式会社三井住友銀行

マリモ地方創生リート投資法人への
シンジケーション形式による「グリーンローン」の組成について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕/以下、「三井住友銀行」）は、マリモ地方創生リート投資法人（執行役員：北方 隆士/以下、「本投資法人」）の「グリーンファイナンス・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）の策定支援を行うとともに、シンジケーション形式のグリーンローン（以下、「本ローン」）を組成いたしました。

グリーンローンは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業（以下、「グリーンプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポートングを通じ透明性が確保されたものを指します。

【本ローンの概要】

契約日	2024年7月30日
実行日	2024年8月1日
組成金額	20.15億円
アレンジャー	三井住友銀行
契約期間	5年
貸付人	アレンジャーが招聘したシンジケート団

本投資法人は、2016年2月に設立され、同年7月に東京証券取引所に上場したJ-REITです。地方創生のコンセプトの下、レジデンスと商業施設を中心とした総合型ポートフォリオを構築することにより、「相対的に高い投資利回り」かつ「安定的な収益」の確保と運用資産の確実な成長を志向し、投資主価値の中長期にわたる向上を目指しています。

本投資法人の資産運用会社であるマリモ・アセットマネジメント株式会社は、マリモグループの「利他と感謝」の精神を経営の基本理念として掲げ、他を利する心をもって行動し事業活動を通じて社会が抱える問題に真摯に向き合うことで持続可能な社会の実現に向けて主体的に取り組むとの認識のもと、2023年12月に「サステナビリティ方針」を策定しました。本投資法人は、「ヒューマニティとビジネスの力で社会の課題を解決し、人々の豊かな暮らしを創造し続ける」をパーパスに掲げるマリモグループの一員として、本投資法人の基本理念である「地方から日本を強くしていく」ことを通じて、サステナブルな社会の実現へ向けた取り組みに重きを置き、ひいては投資家価値の中長期にわたる向上を目指しています。

今般、このような取組みの一環として本フレームワークを策定し、適格クライテリアを充足するアルティザ博多プレミア及びアルティザ仙台花京院のリファイナンス資金として、本投資法人初のグリーンローンを組成いたしました。本フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）「グリーンボンド原則（2021年版）」、国際金融業界団体のLMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）及びAPLMA（Asia Pacific Loan Market Association）にて策定された「グリーンローン原則（2023年版）」、環境省が定める「グリーンボンドガイドライン 2022年版」及び「グリーンローンガイドライン 2022年版」に適合する旨の第三者評価として、株式会社日本格付研究所（JCR）より最上位評価である「Green 1（F）」を取得しています。

三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

(参考)

マリモ地方創生リート投資法人ホームページ：
<https://www.marimo-reit.co.jp/>をご参照下さい。

株式会社日本格付研究所（JCR）による「グリーンファイナンス・フレームワーク評価」の詳細：
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>をご参照下さい。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
サステナブルソリューション部
TEL：03-4333-6967

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。